

教育理念・目標	日本国憲法が定める基本的人権を尊重し、平和で民主的な社会の形成に資する主権者を育てる。 法政大学の校風として育まれた「自由と進歩」を体現する主体的で創造的な人間を育てる。 豊かな知性と教養、健康な心と身体、思考力と判断力を有する人間を育てる。
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育目標を具体化するためにどのような取り組みを行うかを議論し、実施する。 ・ これまでの人事編成の振り返りとよりよい人事の作成方法を検討する。 ・ 学校予算に関わる研修の実施、個々人が全体状況を見据え、各担当部分をコントロールし、持続可能な学校運営をめざす。 ・ 安心・安全を確保するために施設・設備の改善点を検討する。

共通課題

No.	評価基準	学校自己評価				学校関係者評価
		年度目標		年度評価		実施日 2017年9月9日
		現状と課題	具体的な取組	達成状況	次年度への課題と改善策	学校関係者からの要望、評価等
1	建学の精神 (建学の精神や理念の理解と意識化)	行事の目的を総点検し、教育目標に沿った各行事の位置づけを検討した。 教育目標を各行事、各教科、分掌における教育活動でさらに具体化するための討議を進めることが課題である。				*「自由と進歩」の理念が学生に浸透しているか否か、疑問、週1回 or 月1回程度、このテーマでの授業があってもよいと思う。 *生徒主体の行事が多くあり、生徒自身のモチベーション向上につながっていると思います。精神は、今年度入学された生徒にも浸透しつつあるのではないのでしょうか。 *校風である「自由と進歩」を軸としているのは良いが、主体的で創造的、豊かな知性・教養が身につけているとは思えない。その様な教育をしている様にも伺えない。自分の子や生徒を見ていて思う。具体的にどうしているのか、示してほしいし、実践してほしい。
2	組織運営	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本校では、夏休み中のクラブ活動で事故が発生した。学校での活動における安全・安心の確保の課題・問題を改めて見つめ直さざるを得ない事態となった。生徒一人ひとりの丁寧な観察から得られたことや生徒自身や保護者から寄せられる批判的、あるいは建設的な要望などにどのように応えていくのか、生徒一人ひとりを大切に、人権を尊重する教育を実現するためには何が必要となるのか、引き続き大切な課題として対応を検討していく必要がある。 ・ 何か問題が発生した際に、教員同士のコミュニケーションによって団結力やチームワークを発揮し、最善の結論を集团的・組織的に見出すことによって、大きな問題であっても、落ち着いて対処し、二次被害三次被害へ問題が拡大していくことを防ぐにはどういったことが必要であるのか、その点を明確にするという課題に直面した。 この局面を、学校としての指導の在り方を改めて見つめ直す大きな節目と捉え、教員集団全体で現状が抱える問題を学び合い、全ての生徒、保護者、教員の人格を尊重しながら他者に寄り添う指導の在り方を検証し、今後の教育活動に活かしていく必要がある。事故が発生した際の対応能力を高めると同時に、事故を発生させないための指導を工夫していくことが重要である。 ・ 教員会議の議事運営が合理的かつ闊達に進められるよう努めた。 ・ 内外の教育問題を学び、本校での教育的な指導論の実現を目的に研修を行った。今年度は、カウンセラーの方々をお招きし、「生徒状況について」や「ストレスマネジメント」について学んだ。次年度以降も教育目標を具現化するための学びをつくる点や生徒の現状を取り巻く現代的な問題点を学び合い、共通認識を作って教育活動にあたることのできるようにしていきたい。研修の年間計画についても全体で討議しながら確定し、必要な研修を的確に行うことができるようにしていく必要がある。 ・ 2017年度予算編成にあたっては、持続可能な学校運営、教育方針に合致した配分、予算が広く生徒全体に還元されることを目的として諸事業を見直すという方針に沿って検討した。 持続可能な学校運営を実現していくためにも、個々人が全体状況を見据え全体で優先順位を決め、予算配分できるような仕組みの構築が必要である。卒業記念品代の在り方・運用についてなどさらに整備していく必要がある。 				*他校を知らないので比較対象がないが、現状には満足している。他校の良い点があれば参考にしても良いと思う。 *本校は生活指導面について、学年色が強いと感じます。その為、他学年との間で問題が出ているとも聞いています。学校として、生活指導の対応を統一化して頂ければと思います。
3	教育活動 (教科、生活、進路、行事、自主活動等)	1. 教科 教務部では、2015年度総括と2016年度方針にもとづき、教務・進路指導・図書・国際交流・学事の5部門が丁寧に連携しつつ、各分野の業務に取り組み、生徒の学習と進路保障に努力した。 ・ 教育課程に関しては、現行教育課程の問題点についての認識を共有した。また、教育課程審議会の審議を注視しつつ、教育課程改訂の方向性について検討に着手した。 ・ 2015年度に導入した試・教務関係システムにつて、幾つかの不具合に対処しつつ、円				*教育については、内部推薦なくとも法政大学に進学できる程度の学力レベル習得を目指してもよいと思う。その他の活動には、大いに満足している。 *ウェルカムフェスタに参加しました。一学期の時期に大学進学、大学での学び

	<p>滑な運用に向け取りくんだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 校地移転と新校舎建設から10年目を迎え、AVやICTなどの教育機器の劣化が見られ、予算を見据えつつ、今後の教育活動の充実のためにも、修理・改善が喫緊の課題である。 図書部では、学習機関としての質的向上をめざし、パスファインダーの充実、オンライン化や書誌データの更新を進めた。また、図書室の安定的運営のために、司書教諭の適正な配置が課題である。 国際交流部では、留学・語学研修など国際交流活動を安全な実施に向けて取り組んだ。語学研修に関しては、旧来のイギリスのオーカムに代えて2回目のカナダ語学研修を実施したが、参加生徒にも評判であり、様々な成果を生んだ。 学事部では、授業時間の時間割作成に加え、行事に関わっての特別時間割作成を円滑に遂行した。 <p>2. 進路</p> <ul style="list-style-type: none"> 進路指導部では、中3・高3学年会と協力し、進路指導を安全に遂行するとともに、ウェルカムフェスタの開催など高大連携・3付属校合同の行事に主体的に関わり、進路指導内容の拡充を図った。 <p>3. 生活</p> <p>生活指導分野では、法政中高に集う一人ひとりの安全・安心な生活を実現することを最優先課題とし、「学校は、生徒が主体的に参加し、仲間とともに学び合い、自他を高める場」と位置づけ、一人ひとりが自分に対して肯定感をもち、他人を思いやりながら生活できることを目標とし、生活指導を展開してきた。教員集団が一人ひとりを大切にする指導を丁寧に展開し、教育力を発揮するよう努めた結果、多くの事案を重大な生活指導案件に至る前に良い方向に導くことができたのではないかと考える。しかしながら、日常での個別生徒に関するカンファレンスの実施については取り組みが弱いように思われる。日々の業務の中で現実的に実施できる形態・内容を更に追求していく必要がある。一人ひとりの生徒に十分に目配りをして指導を展開するために、教員各自の生徒への観察眼を更に高めることと合わせて検討していく必要がある。</p> <p>また、報告・連絡・相談の精度を更に向上させ、チームでお互いが協力し合いながら指導を展開する必要がある。情報の共有化をはかり、問題認識能力・問題対応能力・問題解決能力を向上させ、応用課題が発生した際にも確実に事態に対応できるよう常日頃から体制を構築し、実践できるようにしておく必要があるだろう。</p> <p>「いじめ」につながる行為を未然に予防し、生徒自らが、ルールやマナーの大切さを認識し、「人権」感覚や他人の気持ちになって考える「想像力」をもち、自他ともに「人間の尊厳」を大切に尊重して行動できるように指導を展開していくことを目標とした。個別取り組みはありながらも、全体で議論し、その到達点にもとづいて指導を展開していくまでには至らなかった。被害的立場の生徒の安全と人権を守ることを最重要視し、「いじめを絶対に許さない」という立場に立って、いじめ(的)行為に対しては、組織的・集団的に毅然とした対応と指導が必要である。そして、その際昨年度策定した「学校いじめ防止基本方針」に則して、具体的な方策を検討していくことが課題である。HRや行事、保護者との対話を通じた信頼関係の構築を通して、生徒・保護者・教員ともに相互の人格を尊重する文化の創造に努めたい。</p> <p>【1】生徒会</p> <ol style="list-style-type: none"> ①生徒の自主的・自律的な生活規律を具体化するための指導のあり方を検討することを方針とした。生徒会活動を通して「何を生徒に学ばせるのか」「何をつかませるのか」、そのためにはどのような生徒会指導を行っていく必要があるのか、についての検討は効果的に進めることはできなかった。高校スポーツ大会のルール検討など、実際の場面で教員・生徒ともにその一端を経験することはできたが、教員集団全体で、その指導目標を共通認識のあるものにしていくところまでは、至らなかった。生徒会指導について、民主主義を学ぶ場としてどういった取り組みが必要であるのか、教員集団で再点検しながら、より教育的な指導が展開できるようにしていく必要がある。 ②委員会活動やクラス討論の活性化を通して、要求の掘り起こしを実現していくという点については、引き続きの課題となった。アンケートなどを通じて全体状況を把握することには取り組んだが、それを分析し、要求を掘り起こすところまでは至れなかった。引き続きの課題として取り組んでいきたい。 ③始業式・終業式の運営については、執行部の視点も活かしながら、教員集団とともに式典に臨む姿勢の改善を目指した。特に高校においては、まだ課題が多く指摘されている。生徒会執行部と生徒会会員、教員集団で相互に式典の意義や意味、運営の理念を再確認し、協力してよりよい式典を目指す必要がある。 ④三者協議会については、一つ一つの課題点、問題点を多角的に検討することにより、教育的に生徒会活動に活かしていくことが試みた。一方で、協議会の準備過程、実施の結果を学校全体に広げていく課題が指摘されている。事務局会議の運営の改善などに取り組み、全体での取り組みにしていく必要がある。 <p>【2】課外活動</p> <ol style="list-style-type: none"> ①クラブ中に発生した事故についての事故報告をまとめ、報告書から今後のクラブ指導への教訓を学ぶような取り組みができるように試みた。特にラグビー部の事故について、発生した事態の共有化を行うことはできたが、そこからの教訓を全体で確認するまでには至っていない。今後、今年の夏に発生した事故を全てのクラブにおいて再び起こさないための研究・学習活動を確実にに行い、よりクラブ活動の安全性向上に努めていきたい。 ②生徒会部とクラブ指導部が協力し、クラブ活動の実態の把握に努め、部員数などの基本情報の把握をすることができた。次年度以降は、退部などの動きも的確に把握し、リアルタイムでクラブの状況を把握できるよう各クラブ顧問の協力を得なが 	<p>を想像する良い機会であると思いました。保護者向けのプログラムでは就職活動の状況についてわかりやすくお話ししていただき、改めて子供との関わり方や子育てについても考えさせられるとても良いお話しを聞く事ができました。</p> <p>*支援室など、指名生徒以外でも自主的に参加できる場があり、生徒が加わりやすいよう、年齢の近い指導者を配置するなど工夫されていて、保護者として有り難いと思います。</p> <p>*生徒の学力を向上させようと学校が取り組んでいる様にもみえない。期末試験だけでも順位をつけ、自分の学力がどの程度なのか把握させ、切磋琢磨することも必要だと思う。また、礼儀作法の授業があれば(知育の武道ではなく)、今後の役に立つし、近隣からの苦情も多少なりとも防げて、立派だと思われる法政生になれるのではないかと。</p>
--	--	--

	<p>ら、より確実なものにしていく必要がある。</p> <p>③クラブ活動の実態から本校におけるクラブ活動の在り方論議（クラブ活動の体制や指導のあり方）に取り組むまでには至らなかった。まずは、学校の教育活動の中で行われているクラブ活動の教育的な意義・目的などを論議し、本校でのクラブ指導の在り方についての共通認識を構築した上で、個別問題の検討に入る必要がある。その際、下記の課題を短期的に取り組むべき課題、中長期的に取り組むべき課題の仕分けを行い、クラブの再編に向けて取り組んでいきたい。</p> <p>④クラブ長会議の定例化がなされ、法政中高のクラブ活動全般における共通認識をつくることに一定の成果をあげることが可能となっている。生徒自身による共通認識づくりの取り組みや生徒の主体的な活動を行うことができることを更なる指導課題としたい。そのためにも、クラブ部長会議の内容や運営方法を中高生徒会とも連携しながら、更に検討していく必要がある。</p> <p>⑤今年度もクラブコーチ懇談会を無事に取り組むことができた。各クラブコーチから生徒指導の現状とその課題が示され、学校側と指導していただいているコーチとの間で生徒状況などの共有化が可能となり、有意義な時間とすることができた。コーチも含め、指導者全体で共通認識をもってクラブ指導にあたることは、重要である。しかしながら、参加クラブ数が約半数ぐらいにとどまっている現状もある。今後も内容や懇談会の設定（日程）についてより参加しやすく、内実の伴った形を検討し、取り組んでいきたい。</p> <p>【3】生活指導</p> <p>①教員集団の指導力量の更なる向上を目指し、全体で共通認識をもって円滑に生活指導を進めていくことが方針として掲げられた。特にクラブ内での事件・問題行動があった場合の初動の対応について、課題があった。加害的立場の生徒と被害的立場の生徒の双方から迅速かつ正確に聞き取りと事実調査を行い、両者の“事実”認識を、すり合わせ、事実を正確に把握するための対応の役割分担と指導の進め方を精緻なものにしていく必要がある。当該クラブ、学年会、クラブ指導部、生活指導部など関係諸組織が連携して指導に当たる場合の枠組みを整備する必要がある。</p> <p>また、初動の聞き取りを一担当者によって行うことは避け、複数による聞き取りと事実の確認、共有化を行い、多面的な情報を用いて生徒に適確な指導を展開できるように努める必要がある。</p> <p>②生徒状況全般の把握（観察眼）をさらに向上させ、からかい・悪ふざけ等いじめにつながる可能性のある行為に敏感に眼を向け、そうした行動の早期発見と事前防止に努めることについては引き続きの課題となった。休み時間のうちから当該学年のフロアーに移動し、生徒状況をつかむように努めている取り組みについても報告されている。教員間の情報共有化を前進させ「報告・連絡・相談」の精度を更に向上させることで、共通認識づくりに努める必要がある。</p> <p>③教研活动については、7月の教研においてカウンセラーの方々から講演をいただき、学習に取り組んだ。教研は、「カウンセラーからみた生徒状況」・「ストレスマネジメント」についての2本立てで実施した。感想からは多くの気づきや学びがあった旨のコメントが寄せられた。更にその時々にあった内容の教研を計画的かつタイムリーに実施できるように次年度以降も努めていきたい。</p> <p>④各行事の方針・総括を作成・確認していく過程において、今後の行事实施を意識しながら取り組むことが方針として掲げられた。総括作業を行事が行われた学期中に実施するという点については、前進面がみられた。各学年の発達段階に応じ、「何を獲得目標」とするのか、「行事のねらい」は何かを明確にし、6カ年、3カ年を見通した全体的な視点での振り返りを行い、行事の持続可能性を追求していくという点については、十分な取り組みとはならなかった。次年度以降の課題としたい。</p>	
4	<p>安全・保健管理（保健、安全、防災、施設等）</p> <p>1. 保健 アレルギーを持つ生徒への対応 ・4月に教員対象にエピペン講習会（エピペン実習）を行い、エピペン携帯者の情報共有を行った。 ・宿泊行事前（中1高1オリキャン、中2オリキャン、中3修学旅行）にアレルギーについてのアンケート調査を行った。アレルギーの有無だけでなく、除去食を希望するか、事前に献立の配布を希望するかも調査した。保護者の責任の下で回答してもらうよう、様式を工夫した。また、今年度より、新入生（中学生および高校生）については事前に郵送し新入生ガイダンス当日で提出していただいたため、余裕を持った対応ができた。</p> <p>2. 施設・設備 使用団体からの要請に応じて、グラウンドや体育館の施設・設備の点検を行った。事故が発生する前に、事前に問題箇所を発見し、適切に対処することが求められている。安全安心を確保する観点から、点検の仕組み作りや、補修箇所などを発見した際の対応について整備する必要がある。また、施設・設備の安全な利用方法やその指導についても、引き続き改善をはかる必要がある。・安心・安全を確保するために施設・設備の改善点を検討した。</p> <p>3. 環境・防災 ・行動計画の整備：防災カードを用いて緊急時の連絡方法などの確認を行った。 ・防災教育として、普通救命講習（中1、高1）を実施した。 ・今年度は、天候の関係で、年3回計画されている防災訓練のうち、放課後バージョン1回のみの実施となった。防災訓練をどのような状況、条件、周期で行っていくかについて引き続きの検討が必要である。また、自分の生命を自分で守るための防災教育の研究についても取り組む必要がある。 今後の課題</p>	<p>*昨年のラグビー部の悲しいでき事を教訓に、更なる安全・防災管理体制の充実が必要だと思う。例えば落雷時の部活動の即中止など。大学生による部活動指導の場合には、危機感の欠如があると思う。</p> <p>*子どもが保健室にお世話になった際、連絡をくださり、私に到着するまでの間に病院まで手配・引率して頂き、迅速で丁寧な対応をして頂きました。有難うございました。</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・防災マニュアルの作成の検討 ・式典・文化祭・入試当日の「緊急時避難マニュアル」の確立 ・避難訓練をより実践的な方法およびあらゆる天候を想定した訓練の実施方法検討 ・緊急時避難場所として私学生徒の受け入れ方等の検討 ・学内のAEDの台数を更に増やすかの検討。 <p>4. スクールランチ スクールランチは弁当づくりの保護者負担の軽減を目的として実施された経緯がある。改めて目的について検討し、中高生の食堂の利用促進と併せて検討する必要がある。また、中学1年生対象アンケート調査を必要に応じて実施し、さらに内容の改善を図っていききたい。(栄養面・カロリー面・味付けなど)</p>	
5	連携 (保護者、卒業生、地域等)	<p>1. PTA 役員、運営委員会の方々をはじめとしてPTAの方々のご尽力で基本的な活動を滞りなく遂行できた。 *役員会ならびに運営委員会の活動の工夫・改善：PTA組織と教員組織とで連携し次年度役員候補者の選出ができた。規約の検討をさらに進め、役員選出の方法についても検討したい。 *各部会の活動の工夫・改善 ・文化厚生部：活動の内容がマニュアル化されていて、滞りなく活動できた。 ・広報編集部：編集作業のあり方は改善がはかられてきている。よりよい作業方法を検討していききたい。 ・公費助成部：社会情勢も厳しい中、署名活動の意義など学習を行い、委員さんも高い意識で取り組んでくださったが、集まった署名数の減少に歯止めをかけることはできなかった。個人情報保護法下で署名にどのように取り組むか、大きな課題となっている。小中協議会問題に関しては、企画運営委員会や管理職とも相談し今後の方向性を見出したい。 *その他 ・鈴掛祭生徒実行委員会と協議し、協力のあり方を探り、生徒には良い学びとなった。今後は、早め早めに打ち合わせに取り組み、より教育的で中身のある活動を目指していききたい。 ・PTAの規定・組織に関する資料を、12支部の加入学校から収集し、検討の材料を準備した。 *今後の課題は ・ 新年懇親会以外の費用を徴収するイベントへの教員の関わり方の検討 ・ 運営委員会のあり方（代理出席、時間設定の問題など） ・ 生徒活動特別援助費についておよび緊急育英費の金額の検討と内規の整備 ・ 小中校協議会への関わり方 ・ 長期的には、役員会の組織的改変（各クラス代表との関係）</p> <p>2. 地域 地域との関わりについては、生徒にとってより広い学習の場、よき市民を育成する機会の一つとして位置づけ、指導を展開した。今年度は、地域からのご意見は全体的に減少傾向にある。また、登下校において、生徒が被害的立場に立たされるトラブルも発生しなかった。しかしながら、いくつかのご意見は学校に届いており、問題が解決したとは言えない状況がある。引き続き、指導員の方々や必要に応じスクールサポーターの方々とも連携しながら、本校の生徒指導で至らない部分にも細やかに対応していききたい。また、被害を受けるようなケースが発生した場合には、これまでの経験をもとに、迅速かつ確実な対応ができるようにする必要がある。</p> <p>3. 卒業生 11/19(土)「第19回ホームカミング・デー」を開催した。 若い世代の参加者も見られ、退職教員および卒業生の親交を深めた。 参加者：93名(卒業生73名・同窓会役員12名・退職教員3名・教職員5名)</p>	<p>*地域との連携については、学校・先生方には多大なご苦勞をおかけしていると推察。家庭内での指導も重要だと思う。</p> <p>*文化祭時の地域の方からのご意見等、その都度お聞きしておりますが、具体的にどのような意見がどのくらい出ているのかを、まとめて数値化し、保護者・生徒とも共有して、一人一人の認識を高めると良いのではないのでしょうか。</p> <p>*運営委員会の集まりについて、ただ行事を述べているだけで意味を感じない。行事なら予定表をみればわかることだと思うのですが。月1回も必要ない。</p>
6	大学との連携	<p>7/10(日)「ウェルカムフェスタ」を法政大学市ヶ谷キャンパスで開催した。法政大学三付属校の高校1年生と保護者(希望者)を対象に、法政大学の歴史や大学での学習・生活に関して紹介した。創立130年を超える法政大学の歴史、大学での学びの紹介や大学生の就職活動に関連する講演(保護者の方向け)、希望者対象には現役大学生による学生企画が行われ、進路指導上、有意義な取り組みになった。</p> <p>また、夏休み中(8/24)に“One Day Science in Hosei Koganei Campus”を開催し、10数名が参加し、理系進学希望者にとって実り多い学習の機会になった。</p> <p>2016年度より2泊3日で“Hosei Summer English Camp”(7名参加)が、3月に英語プレゼンテーション大会が開始し、SGHの法政大学と3付属校との協力体制により質の高い英語学習を展開している。</p>	<p>*現状に満足。</p>

付属校独自課題

No.	評価基準	学校自己評価				学校関係者評価
		年度目標		年度評価		実施日 2017年9月9日
		現状と課題	具体的な取組	達成状況	次年度への課題と改善策	学校関係者からの要望、評価等
1	三者協議会	三者協議会の取り組みでは、第四回目の協議会を実施した。協議を行うことで、様々な課題・問題を多様な視点から検討を行うことが可能となっている。三者それぞれで、お互いの考えていることを知ることにより、課題をよりよい方向に改善していく方策を模索することにつながっている。次年度以降についても、これまで培ってきたものを糧にし、引き続き生徒・保護者と協力共同し、より教育的な学校づくりの活動の実現につなげていきたい。				<p>*三者協議会がどのような場であるのか、質問を受ける事が多々あります。誰が参加して良いのか、どこが主体となって何について協議をするものなのか明確にした方が良いと思います。</p> <p>*良い取り組みだと思う。</p>
2	教育理念	法政中高の伝統や校風に対する肯定感や付属校らしい学習に対する期待感を生徒がどのように抱いているか、学校行事へどのような期待をもっているかなど、学校の教育活動に対しての生徒の受け止めを具体的につかみ、教育活動に反映していく必要がある。今年度は実施できなかった生徒アンケートに取り組み、分析を行っていく必要がある。				<p>*「自由と進歩」の理念が学生に浸透しているか否か、疑問、週1回 or 月1回程度、このテーマでの授業があってもよいと思う。</p> <p>*生徒アンケート等、生徒の生の声を聞く事ができると思います。是非、実施して頂きたいです。</p> <p>*伝統ある学校なのに、子どもたちの意識が薄いように思われる。学校がもう少し意識向上に取り組むべきではないか。</p>
3	入試広報	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入試について従来のセンター試験から大学入学共通テスト(仮称)への移行が検討されているものの、理念が先行して実際が見えにくい状況から大学進学に不安を抱き、中高から大学付属校を志向する傾向が高まっている。 ・本校の認知度の向上、出願者のさらなる獲得を目指し、内容を精選しながら広報活動を行った。各種メディアについては、各方面からのアドバイスを参考にしつつ、改訂作業を中心に行った。 ・入試関連の催しとして、入試結果の報告会(塾対象)、オープンキャンパス、施設見学会、文化祭ミニ説明会、中学夏の説明会、中高秋の説明会、直前対策講習会を行った。基本的には従来の内容を継続するかたちであったが、オープンキャンパスでは、在校生やPTAの協力を得て、入学後の生徒や保護者の観点からも学校を紹介することができた。秋の学校説明会では、多くの教職員の協力を得つつ、滞りなく開催できた。直前対策講習会では、一部の業務でミスがあった。教訓化して今年度に活かしたい。 ・新入生ガイダンスにおいて、受験生の実態を把握するためアンケートを実施し、志望動機や併願校、入学後に期待すること、宣伝効果、入試全般に関する意見などを調査することができた。結果を分析し、今後の広報や入試の活動に役立てたい。 				<p>*現状に満足</p> <p>*説明会時の「学校・校外学習での子ども達の様子」は受験目標にされている生徒・保護者に好評のようです。</p>
4	地域	高校の三者協議会において地域との関わりについて議題として取り上げ、学校と地域の現状を三者で共有し、どのように関わっていく必要があるのか検討を行っていくことができた。また、今年度もコミセンとの関わりを有志の高校生がもつなど、地域が求めていることに寄り添った活動を行うことができた。一方で、このような学校と地域との関わりについての成果と課題を全学的に共有できていない現状がある。関わった者のみが把握しているのでは無く、全学的に共有化することに努め、共通認識づくりを積極的に行っていくことが問題を改善していく一歩につながると考える。次年度以降の課題としたい。				<p>*地域との連携については、学校・先生方には多大なご苦勞をおかけしていると推察。家庭内での指導も重要だと思う。</p> <p>*文化祭時の地域の方からのご意見等、その都度お聞きしておりますが、具体的にどのような意見がどのくらい出ているのかを、まとめて数値化し、保護者・生徒とも共有して、一人一人の認識を高めると良いのではないのでしょうか。</p>
5	子育て茶話会	本会は2012年より緩やかにスタートし、2016年度はPTAの日程に合わせて月1回土曜日に開催し、年間6回実施した。保護者、教員、スクールカウンセラー、地域の方々など多くの方々の参加を得て、「人とつながる力」「子どもの自立は親の自立から」など様々な話題で懇談した。特に中1の保護者からは、初めての中学生生活で親子共々不安を抱えている中、先輩保護者や様々な角度からアドバイスをもらうことが出来て、心強いという評価を頂いている。一方で参加者が固定化している面もあることから、各学年会からの働きかけを活発に行っていく。				<p>*昨年度、子育て茶話会に出席させて頂き、参加されている先生・先輩保護者の皆様からいろいろな事を教えて頂き、とても参考になりました。ただ、HPの最新情報に載せるだけでは、見落としがちです。HPに「子育て茶話会」ボタンを設けて、一年間の開催日時をいつでも確認できるようにしては如何でしょうか。</p>